

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：ラボデミSTEAM  
記入年月日：令和6年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2	職員の配置数は適切であるか		○	職員の離職があったため、適切な配置数となるように採用活用を行った。現在、職員の配置数は充足しつつあるが、より良い支援を実施するためにこれからも採用活用を行っていく予定である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	事業所内に関しては一般的な設備は設けているが、入居ビルにエレベーターがなく、階段にある手すりのみとなっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所HPにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○	職員の離職があり、現地参加型の研修への参加の機会を確保することが難しかった。そのため外部事業者提供の事業所内で視聴できる映像研修を受講できるよう機会の確保に努めた。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○	児童発達管理責任者不在の時期があり、その期間は新たな個別支援計画の作成が困難であった。2024年2月より新たな児童発達管理責任者が着任し、アセスメントの適切な実施、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○	9番の項目同様、児童発達管理責任者不在の時期があり、その期間は新たな個別支援計画の作成が困難であった。2024年2月より新たな児童発達管理責任者が着任し、子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		必ず、当日出勤している職員間で支援開始前に打ち合わせを実施し、利用確認・送迎確認・イレギュラー対応の有無・支援留意点・職員の動きなど共有・確認を行っている。また打合せの内容は紙面にも記録し、保管している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		必ず、当日出勤している職員間で支援終了後に打ち合わせを実施し、回収物の確認・イレギュラー対応の有無・支援中に気付いた留意点・職員の動きなどを支援開始前に行った打合せの記録を参照しながら共有・確認を行っている。また日々の支援内容はデータにて記録し、保管している。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		16番の項目参照
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○	9番の項目同様、児童発達管理責任者不在の時期があり、その期間は新たな個別支援計画の作成が困難であった。2024年2月より新たな児童発達管理責任者が着任し、定期的にモニタリングを行える体制を整えている最中である。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			現在当事業所では医療的ケアが必要な子どもが利用していないため、未回答。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			現在当事業所では本項目に該当する子どもが利用していないため、未回答。今後該当する子どもが出てきた際はこれまでの支援内容を提供できるよう準備を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		隔月で開催される「スナオマルシェ」に放課後等デイサービスを利用する子どもたちと一緒にブース出展を行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		事業所にお迎えに来ていただいた際に利用時の様子の共有を行っている。また、公式LINEを活用し、子どもの状況の共有や保護者からの相談にも対応している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		事業所にお迎えに来ていただいた際や公式LINEを活用し、子どもの状況の共有や保護者からの相談にも対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	2023年度は保護者会は実施できなかったため、2024年度以降実施できるよう体制を整えていきたいと考えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		契約書類・個別支援計画など個人情報は、必ず鍵付きの書庫での保管を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		隔月で開催される「スナオマルシェ」に放課後等デイサービスを利用する子どもたちと一緒にブース出展を行っている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○	最新の状況を更新する作業を現在行っている最中である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	9番の項目同様、児童発達管理責任者不在の時期があり、その期間は新たな個別支援計画の作成が困難であった。2024年2月より新たな児童発達管理責任者が着任し、本項目において該当する場合は十分に説明を行い、個別支援計画に記載するようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	